中学生連載企画

私たちのふるさと松山学 No.15

日浦中学校

緑と清流ホタルの里 ふるさと日浦 「一人ひとりが主人公」

地区の自然や歴史

私たちは総合的な学習の時間に日浦地区の特色や魅力について調べ、さまざまな活動を通して環境保全について学びました。

日浦緑の少年団

小倉 颯馬さん（3年）

4月、中学1年生が35年間続く日浦中学校の伝統ある活動を行う「日浦緑の少年団」に入団します。この活動は、「日浦530運動」や「花いっぱい運動」「日浦夢桜の森事業」総合的な学習の時間で行う「炭焼き活動」「ホタルやヒメユリの保護活動」など、日浦地域の自然を大切にした、環境保全活動を受け継いでいます。

今年度入学した中学1年生

日浦530運動

長岡 数馬さん（3年）

地域の清掃奉仕活動や自然の保護活動として、毎学期『530（ゴミゼロ）運動』を行っています。小学1年生から中学3年生までが、班をつくり、6つの班に分かれて学校周辺の国道沿いのごみ拾いや草引きを行います。

これからもこの活動を続け、日浦地域の環境美化に努めていきたいです。

中学生がごみの収集

花いっぱい運動

山田 広華さん（3年）

「松山市を訪れる人を道いっぱいのアジサイでおもてなし」を合い言葉に、日浦小学校横の国道317号線に、日浦中学校の全校生徒と保護者、地域の皆さんで、100本のアジサイを植樹しました。おもてなしの心を込めて植樹し、大切に育てています。

今年の開花がとても楽しみです。

雨の中で植樹したアジサイ

日浦夢桜の森事業

室地 蓮さん（3年）

松山市の水資源である石手川ダム上流の、日浦地域の自然を守るため、福見川町の市有林で『日浦夢桜の森事業』による植樹活動を行っています。この活動は、国土交通省松山河川国道事務所や松山市でつくる「石手川ダム水資源地域ビジョン推進委員会」などの主催で、今年で9年目を迎えます。

桜の植樹

炭焼き活動

小倉 愛子さん（2年）

「先人の知恵を伝承しよう」をテーマに、中学1年生は、炭焼き活動を通して日浦の歴史や環境問題について学んでいます。昨年は地域の炭焼き名人を招いて勉強をしました。

今年は竹炭にも挑戦して日浦地域の特産にしたいです。

炭窯での作業

ホタルの保護活動

西村 柊さん（3年）

中学2年生は、「ホタルと私たち」をテーマに、ホタルの生態調査や水辺の環境保全について学んでいます。ホタル保護活動では、ホタルを捕獲し産んだ卵をふ化させ、幼虫を石手川に放流しています。

6月にはホタル観賞会を行っています。

ホタルの生態について説明

ヒメユリの保護・栽培活動

セブガン アイラさん（3年）

「失われる命」をテーマに中学3年生は、日浦地域の町花であるヒメユリの保護・栽培活動を行っています。ヒメユリは2007年に愛媛県の絶滅危惧種に登録されています。

今年も、ヒメユリの種の播（は）き（種まき）を行いました。

体育館の裏で活動

みんなの生活展で発表

赤木 奎介さん（2年）

毎年10月、大街道で行われる『みんなの生活展』に出展し、「日浦緑の少年団活動」を市民の皆さんに紹介しています。自然環境保護への関心を高めてもらおうと生徒全員が参加しています。昨年は、私もしっかり活動を説明することができました。

出展の様子

伝統的な盆行事『川施餓鬼（かわせがき）』と『提婆踊り（だいばおどり）』

小倉 千裕さん（3年）

毎年、8月15日に先祖や地域に縁がある先人の霊を迎え無病息災などを祈る『川施餓鬼』が東川町の石手川上流で行われ、日浦地域にあった奥之城（おくのじょう）（宿野町）が落城した際、戦死した武将7人を供養するために始まったとされています。明治天皇崩御を機に中断しましたが、1993年に日浦公民館行事として復活しました。オープニングとして日浦小中学生が「日浦太鼓」を披露し、円福寺の住職さんの念仏があり、太鼓や鐘の音が鳴り響く中、白装束の男性約30人が川入りし、高さ約12メートル、重さ約30キロの三本ののぼり旗を担ぎ、笹を持った日浦小中学生の先導で、石手川を約100メートル練り歩きます。

川施餓鬼

松田 栞さん（2年）

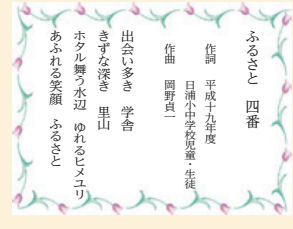
福見川町では、川施餓鬼の夜、県指定無形民俗文化財である『提婆踊り』が披露されます。この提婆踊りは、奥之城主とその一族の慰霊のため、開山徳正寺阿弥陀堂境内で盆行事として奉納される念仏踊りで、阿弥陀堂での供養会（祈祷）ののち始まります。2人の鉦（かねう）打ちが堂の前に立ち、踊り場を隔てて十数人の世話人が対面して立ちます。踊り手の大提婆は背伸びし、太鼓撥（たいこばち）を頭上で操り、掛け声とともに胸に結わえた大太鼓を打ちます。それに呼応して小提婆が前屈みで胸の小太鼓を打ちながら、後ろに跳び退がったり、前に小走りしたりして、激しく小廻りして元の位置に戻る動作を275回反復します。提婆の鬼面には宝暦12年（1762年）のものもあり、奥之城落城伝説に由来する大念仏会の一つとして、約400年間踊り継がれているそうです。

提婆踊り

ふるさと四番

大口 嵩弥さん（3年）

毎年11月に『日浦ふるさとフェスティバル』を小学校で開催しています。昨年は、日浦中学校創立70周年、日浦小中学校連携教育10周年を記念し、小中合同で「ふるさとフェスティバル」を行いました。そこで、中学生が本校独自で作詞をした童謡「ふるさと」の4番を合唱し、学校田で作った餅米でお餅つきをしました。



ふるさと　四番

作詞　平成十九年度
日浦小中学校児童・生徒

作曲　岡野貞一

出会い多き　学舎
きずな深き　里山
ホタル舞う水辺　ゆれるヒメユリ
あふれる笑顔　ふるさと

先人と文化の読み物教材

「語り継ぎたい ふるさと松山 百話 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」

松山の先人や文化に関する心に響くエピソードをまとめた教材集です。一話が10～14ページ程度で、気軽に松山ゆかりの先人の足跡や文化に親しむことができ、市立図書館で見ることができます。